



めざせ！ワンハート

令和5年度第2回目の第2層協議体小規模情報交換会実施

2月に本年度2回目となる第2層協議体小規模情報交換会を、3日間6会場で開催しました。各地区よりご参加いただきました皆さん、ありがとうございました。今回の第2層協議体小規模情報交換会では、小グループに分け住民同士の情報交換の時間を作りました。協議体の活動の様子や地域の助け合い活動、見守り活動、居場所の活動等たくさんの情報を交換する場となりました。

この第2層協議体小規模情報交換会は、住民メンバー間で情報交換を行い、他地区の取り組みや活動創出に関する情報を各地区に持ち帰り、第2層協議体の底上げや住民メンバー同士が繋がり、地区間で連携できる体制づくりを目的としています。ぜひ、情報交換会で得た情報を各第2層協議体に持ち帰って共有し、今後の活動に活かしていきましょう。

＜第1層協議体＞
7月に開催した地区を
少しシャッフルしてや
ってみよう！



第2層協議体の
底上げを図ろう！



あんしんセンターと
ともに住民メンバーの
推進力をあげよう

住民メンバーが繋がれる
きっかけを作ろう！

「小規模情報交換会」
開催

＜各第2層協議体＞
情報を共有
今後の活動に活用

他地区の活動を参考に自分達
もやってみようと思った



グループで話し合いが
できて良かった

SCが他の地区の活動や協議体メンバー同士とつながります！



「他地域の活動をもっと聞いてみたい」「直接活動を見てみたい！」という方や、「住民主体の助け合い活動や見守り活動を立ち上げたい」、「実際に活動をしている人の話を聞いてみたい！」という方はぜひ、第1層生活支援コーディネーターにご連絡ください。他の地区の活動や協議体メンバーとつながります。今回の情報交換会を機に、高崎市全体で、第2層協議体活動を一緒に盛り上げていきましょう。

発行元：高崎市第1層生活支援コーディネーター
連絡先：☎：027-321-1319（高崎市長寿社会課）

高崎市 HP「お互い様で支え合う地域づくり（生活支援体制整備事業）」
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2019011800019/>



第1回 小規模情報交換会の様子

日時：令和6年2月13日（火）10：00～12：00
会場：西部公民館



<参加地区の活動状況・一言ポイント>

【八幡地区】

- ・ひとり歩き高齢者声かけ訓練
- ・地域支え合いサポーター和-アツク講座
- ・居場所「町屋カフェ仲よし」スタート

【長野地区】

- ・生活支援ガイドブック
- ・地域ニーズ把握の為にアンケート調査

【群馬なのはな地区】

- ・群馬福祉ふれあいまつりで周知活動
- ・倉淵協議体メンバーとの情報交換会
- ・ペタンク ・アンケート調査

【箕郷地区】

- ・小学校区ごとにウォーキング実施
- ・助け合い活動に向けた取り組み検討

<グループワークポイントまとめ>

- ・区長・民生委員 OB に声かけをしよう
- ・第2層協議体メンバーが担い手に募集の声かけ
- 第3層の活動を活発化させよう
- ・居場所：認知症カフェや人が集まる場所を再利用
- ・若者を巻き込みたい
- ・地域ニーズは変化する→把握し続けることが大切
- ・居場所の立ち上げノウハウを地域を超えて共有
- 地域を超えて情報共有することが大切
- ・担い手募集は、チラシや回覧より、口コミが大切
- ・町内会やサロンなどで勉強会を開催し、声かけ
- ・協議体周知が大切（メンバー増も含めて…）
- ・第2層協議体を活用して、情報共有しよう

第2回 小規模情報交換会の様子

日時：令和6年2月13日（火）13：30～15：30
会場：岩鼻長寿センター



<参加地区の活動状況・一言ポイント>

【岩鼻地区】

- ・お花みまもり隊
- 地域の高齢者の見守り活動
- ・耕作放棄地を活用した居場所づくり

【滝川・京ヶ島地区】

- ・地域の社会資源調査
- 移動販売車の調査
- ・ぐるりんバスの実態調査

【倉賀野地区】

- ・周知活動・チラシの作成
- ひこばえ祭り（地域のお祭り）で周知
- ・地域支え合いサポーター交流会を検討

【新町地区】

- ・移動販売の買い物支援活動を実施
- ・自治会単位で助け合い活動を検討

<グループワークポイントまとめ>

- ・地域のニーズをキャッチすることが大切
- ・サロン参加者から担い手発掘→元気でい続ける
- ・支え合いサポーター同士の交流が大切
- ・活動を地域へ広げていく
- 地域住民の意識を高めていくことが大切
- ・免許返納で移動や買い物ニーズが高まる
- ・助け合い活動実施に向けて、一人ずつに声を掛ける
- ・見守りの活動を通じて利用者の活力がアップする
- ・担い手が不足している。→身近な人から少しずつ
- ・自分事として活動を始めていくことが大切
- ・人との交流が笑顔が生まれるきっかけになる
- 笑顔になれると元気になる

第3回 小規模情報交換会の様子

日時：令和6年2月14日（水）10：00～12：00
会場：吉井福祉センター



<参加地区の活動状況・一言ポイント>

【吉井地区】

- ・吉井福祉センター祭りで周知活動
- ・ぐるりんタクシー等社会資源調査

【南八幡地区】

- ・ふれあい館で気軽に始める居場所スタート
- ・ぐるりんタクシーを活用した居場所づくり

【寺尾・城山地区】

- ・地域の情報交換

【乗附地区】

- ・地域の社会資源調査→掲示板作成
- ・アンケート調査検討

【片岡地区】

- ・ベンチ作成
- ・会社事務所を活用した居場所「あかり」

<グループワークポイントまとめ>

- ・困り事を自分事としてとらえることが大切
- ・まずは、できることからやってみよう
- ・ハードルをあげずできることから取り組む
- ・既存の地域資源を利活用しながら交流
- ・顔の見える関係性を築いていくことが大切
- ・参加しやすいアンケート作りを心掛けると地域ニーズが集めやすい

- ・地域資源を利用してみたいが、利用の仕方がわからない、利用する勇気がわからない人もいる→ちょっとした手助けをすることで、解決できる
- ・地域の担い手として活躍できる場を作ると参加しやすい
- ・回覧や口コミ、地域の掲示板で少しずつ周知
- ・みんなで楽しく、活動していくことが大切

第4回 小規模情報交換会の様子

日時：令和6年2月14日（水）13：30～15：30
会場：北公民館



<参加地区の活動状況・一言ポイント>

【北・東・西地区】

- ・集いの場一覧作成
- ・地区で有償の助け合い活動検討

【城東・東部地区】

- ・たのもーお助け隊
- ・社会資源一覧の作成を検討

【中居・矢中（中居）地区】

- ・地域の病院のお祭りで周知活動
- ・居場所“ユウゼンギク・ひいらぎ”
- ・中居見守り隊・中居助け合い隊

【豊岡地区】

- ・ちょっとした助け合い活動を実施→包丁研ぎ・裾上げ
- ・居場所づくり・ニーズ調査を検討

<グループワークポイントまとめ>

- ・地域のネットワークを活用して周知活動しよう
- ・楽しく、わくわく活動ができるようにしよう
- ・長寿会等既存の団体と連携をしていくことが大切
- ・地域の困り事解決に向けて、自分たちでできることは自分たちで解決していこう
- ・地域の中でできることを一歩ずつやろう！
- ・地域住民の意識UPが大切
- ・地域支え合いサポーターのフォローアップが必要
- ・50～60代の若い世代を巻き込んでいきたい
- ・第2層協議体もみんなが来てみんなが話せる空間づくりが大切
- ・3サポのつながり作り、顔合わせの会をしよう

第5回 小規模情報交換会の様子

日時：令和6年2月15日（木）10:00~12:00

会場：佐野公民館



<参加地区の活動状況・一言ポイント>

【佐野地区】

- ・助け合い活動・見守り活動・居場所
- ・八幡地区協議体と情報交換会実施
- ・ニーズ把握のためのアンケート調査

【塚沢・浜尻地区】

- ・井野さんぼを実施→他地域へ展開

【中央・南・城南地区】

- ・歴史探訪（介護予防・周知活動・ニーズ調査）
- ・イベントで周知活動・居場所再開

【大類地区】

- ・大類声かけ隊が見守り活動実施
- ・他地域へ展開

【中居・矢中（矢中）地区】

- ・地域サロンを通じ、他地区との交流
- ・区長会との連携→活動面での協力体制

<グループワークポイントまとめ>

- ・協議体活動を通じ少しずつ民生委員と協議体が連携
- ・地域の役を経験した方、商業者、介護経験者等、地域のネットワークをお持ちの方を巻き込もう
- ・まずは、小さい区域で、少人数で活動を始めよう
- ・活動拠点を変えて、参加者の輪を広げよう
- ・情報交換会で得た情報を自分たちの地域で生かそう
- ・住民から住民へ口コミで情報を届けよう
- ・地域にはまだまだ声を掛けてほしい人もいる→活動に参加することでつながることができる
- 地域活動に参加しやすい環境づくりが大切
- ・活動の自由度が高いことが大切

第6回 小規模情報交換会の様子

日時：令和6年2月15日（木）13:30~15:30

会場：榛名福祉会館



<参加地区の活動状況・一言ポイント>

【榛名地区】

- ・生活支援ガイドブック
- ・地域ニーズ調査

【倉淵地区】

- ・倉淵協議体便りを作成→全戸配布
- ・有償ボランティア“くらしくらぶ”

【群馬さくら地区】

- ・群馬福祉ふれあいまつりで周知活動
- ・ウォーキングを通じた“居場所づくり”

【新高尾・中川地区】

- ・民生委員向け勉強会
- ・団地カフェを開催し、居場所づくり

【六郷・北部地区】

- ・助け合い活動発足に向けて検討
- ・アンケート調査で地域ニーズ把握

<グループワークポイントまとめ>

- ・協議体の周知が不足しているので、イベント等を活用し、地域住民に向けた周知活動が必要
- ・活動に参加している人が固定化している
- サポーターのつながりを活用し関わる人を増やそう
- 時間をかけながら少しずつ考えていこう
- ・支え合い活動と居場所づくりは両輪の関係
- ・移動手段が課題となっている
- ・ギアをあげて少しずつ助け合いを広げていこう！
- 高齢者の徒歩圏内に居場所づくりをしよう
- ・多世代を含め協議体の協力者を募ろう！
- ・他地域の活動をうらやましがめるのではなくどの活動も数年かかって活動に至っている